

「受験勉強のコツ」

(九州工業大学 情報工学部 一類)

私は高校 3 年生になるときに成功した先輩方の合格体験記を見て、受験というものはどういふものかを学びました。皆さんが受験勉強に一秒でも早く専念できるように稚拙な文章ではありますが、体験記を書かせていただきます。皆さんのお役に立てれば幸いです。

私は嘉穂高校に入って様々な体験をしてきました。一つ目は部活動です。私は硬式テニス部に所属していて、日々の練習を通して体力や忍耐力をつけ、試合を通して精神を鍛えることができました。受験には体力も精神力も必要です。また本番に向けて自分の体調管理をしっかりして、最大限の力を発揮しなければ合格を勝ち取ることはできません。このことを部活動から学びました。二つ目は生徒会で文化副委員長を務めたことです。潤陵祭の時期は、朝も休み時間も放課後も準備に多くの時間を費やしました。私は「こんなことをしないで勉強をすればもっと成績が上がるのに」と思っていました、そうではありませんでした。潤陵祭の準備をしながらも、上手く時間を区切って空き時間を利用することができたからです。自分で限界を決めずにできる方法を探せば、部活動生も、行事で活躍したい人も、勉強と両立することは可能です。意外と時間がある人ほど時間の使い方が下手だと思います。

次に私が試したことで良かったことについて三点記します。まず、1、2 年生の時は、定期考査や英単語コンクールに真剣に取り組みました。私は人に負けたくないという気持ちが強くあって、満点を取れば 1 位になれるという考え方で常に満点を目指して勉強をしていました。ただの定期考査や小テストでも、意味のあるものにするかどうかはあなた次第です。今思えばそのような勉強が受験の役に立ちました。朝課外についても同様です。朝の時間を”寝て過ごすか”、”授業を受けて過ごすか”で実力に差がつくことは明らかです。最後に笑いたい人は朝課外を受けるべきだと思います。また朝課外を受けることで、朝方の生活リズムを作ることもでき、本番の入試を意識することができます。

二点目は英検の取得です。英検に何度もチャレンジし、2 年生のうちに二級を取ったことも合格につながったと思います。英検は大学入試で有利になることがあるので、積極的に取り組むべきです。

三点目は、学習環境を整えたことです。3 年生になってからは、勉強できる環境に身を置くようにしました。私の場合は家では勉強できないことが分かっていたので、学校での自習を中心に、その他、市立図書館や塾を利用しました。また学校では積極的に授業へ参加し先生の話をも身近で感じて自分のものにできるよう、敢えて前方の座席を指定しました。

ここで私が実践したおすすめの勉強方法を紹介します。私は常に制服の胸ポケットにメモ帳とペンを入れていました。それは授業中や勉強しているときに、自分が忘れやすい英単語や数学の公式などをメモするためです。メモするだけでは意味がなく、ご飯の時間や空き時間に何度も復習して記憶を定着させていました。頭に入っているか確認することも大切で

す。それ以外にも、授業中に分からないことをメモしておいて、授業後や放課後に質問に行ったりもしました。

実際のセンター試験で私は目標の点数に届かず、第一志望校を諦めることにしました。一年生の時から憧れていた九州大学を諦めることはとても悔しかったけど、次に考えていた九州工業大学を受験することにしました。しかし、九州工業大学でもセンター試験を受けての判定はC判定で合格できる確率は50%でした。かなり厳しい状況でしたが、早く切り替えて二次試験に向けて勉強を再開しました。勉強をすればするほど不安な気持ちが増していきました。それでもその不安を打ち消すほどの努力をしました。入試当日は緊張していましたが、今の自分が持っている力を出し切ろうという気持ちで挑みました。合格発表の日、自分の受験番号を見つけたときは、今まで頑張ってきてよかった、努力が実った、と胸がいっぱいになりました。

最後にこれから受験を迎える皆さんにアドバイスです。勉強は継続しないと結果はついてきません。結果が出るまで妥協せず、勉強を続けてください。「自分を信じて」という言葉をよく聞きますが、「信じられる自分をつくる」ことができるのは自分しかいません。後輩の皆さんの健闘を祈っています。最後まで読んでいただきありがとうございました。